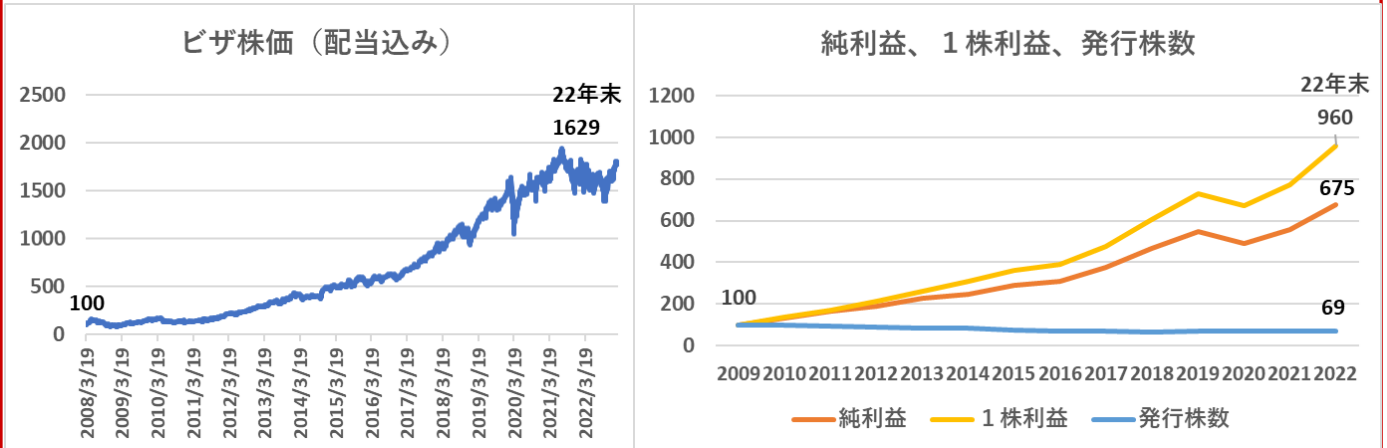


ATTENTION

株価を動かすのは利益ではない、1株利益



このグラフは、普段このようにあまり見ないため、大変興味深いものがあります。ビザと言えば、世界の半分以上のシェアを誇るクレジットカードの最大手。この会社は、銀行だけが株主だったのですが2008年に上場。それ以来順調に業績を上げつづけ、株価は16倍以上に上昇しました。それ自体は大変すばらしいのですが、ここで、利益の測り方、会社の株主還元の姿勢がどう株価に影響するかを見てみましょう。右のグラフを見てください。ここには純利益と1株利益の二つを並べています。純利益は長年増益を続け、なんと2009年から平均で年率15.8%の増益率となっています。このこと自体大変すばらしいです。さて、もう一つの1株利益。こちらの方が絶えず純利益を上回っています。それが何を意味するかと言いますと、分母となる発行株数が減っているのです。実際に発行株数は2009年から31%も減っています。そのため、1株利益が純利益より大きくなるのです。増資、ストックオプションなどをして発行株数を増やすと、当然1株利益は減ります。ビザの2009年からの1株利益の伸び率は19%と、純利益の伸び率より3.2%も高いです。そして株価を動かすのは1株利益です。1株利益がこのように純利益を上回っているのは、絶えず積極的な自社株買いを行っているからです。株主にとってみれば、株主持ち分は増え、会社は配当を増やしても、発行株数は減るので、配当負担は軽減するというメリットがあります。日本の会社もぜひこういうところを見習ってほしいものです！

COLUMN

60年間、働けますか？

昔、高度成長の時代「24時間働けますか」というCMがありました。が、いまの時代、いよいよ「60年間、働けますか」という言葉が、身近な言葉として出て来そうです。人生100年時代に、65歳定年（70歳定年が努力義務になりましたが）のあと、100歳までの35年といわず、95歳になる30年でも、相当長い時間です。そんなに生きていない人が多いですが、生きてしまったらどうするか。お金が続くかということも大事ですが、30年という時を充実したものにするか、なんとなく終わらせるか、人生にとってまた生きがいという面で、大きな違いとなります。30年～35年は長いです。そして自分の心がけ、取り組み方によって、その間、人により大きな違いが出てきます。このテーマは、高齢者に限らず40代、50代から、よく考えておくべき課題です。60代、70代、80代に何ができるか、これを考えて備えておくことは、人生後半の30年、35年を豊かなものにするために大変大切なことと感じます。

先日、世界最高の投資家といわれるウォーレン・バフェット（御年92歳）の盟友チャーリー・マンガーがCNBCの2時間インタビューに出ていましたが、何と今年99歳。頭脳明晰で、非常に深い意味を持つ言葉の数々を発していました。この言葉を聞いて、どれだけ人々が啓発されるか。まさに齢を取っても「人間はかくあるべし」を体現していました。バフェットやマンガーを見ていると「60歳や70歳ははなたれ小僧、80歳になってからが本物だ！」という心意気であるべきと感ずるのです。

MARKET

	(2月末)	(1月末比)
日経平均	27,445.56円	+118.45円 (+0.43%)
NYダウ	32,656.70ドル	-1,429.34ドル (-4.19%)
米ドル	136.25円	+6.10円 (+4.69%)

私の書棚より

好きな仕事に就けるということは、
人生の幸せの八割を得たということ

-「成熟スイッチ」林真理子著

今年も届きました！バフェットの「株主への手紙」

今年も、バフェット書き下しの「株主への手紙」が届きました！バフェット92歳、盟友マンガー99歳。今年の「株主への手紙」にも、投資あるいは人生において胸に刻んでおくべきことがたくさん盛り込まれています。

2022年バークシャー株価はS&P500を大幅に上回る
バークシャーの株価は2022年4.0%上がったのに対して、S&P500(配当込み)は-18.1%。実に22.1%も上回りました！よくバークシャーのパフォーマンスはよくなかったといわれますが、この10年でも年率13.3%とS&P500の12.6%を上回り、20年でもバークシャーが9.75%とS&P500の9.8%とほぼ同じ、上場した1965年来では、バークシャーの株価は年率19.8%で、S&P500の9.9%のちょうど2倍となっています。

バフェットの個人株主への愛着は尋常ではない

この「手紙」冒頭で、バフェットは、個人株主への深い感謝を表しています。一生懸命貯めたお金をバークシャーに投資してくれ、そのお金が増え、社会に循環していく効果は目を見張るものがあるといえます。ここには会社のトップと株主の真の関係があるといえます。

投資はビジネスを買い、株の売買で利益は上がらない
「投資は長期のビジネス成果を吟味して買うのであり、目先の売り買いで利益を得ようとするものではない。我々はビジネス・ピッカー(選択者)であり、ストック・ピッカーではない。」バフェットはそうしてきたからこそ、投資による利益を総ざらいで得てきたといえます。

失敗の投資は枯れ果て、成功の投資が大輪の花となる
バフェットは、投資ですべて成功する必要はない。いくつかの投資で成功すればいいといっています。それらの成功が大輪の花を咲かせ、失敗したものが雑草のように枯れていったというのです。成功例として、コカ・コーラやアメリカン・エクスプレスを上げています。直近の例では、2016年に買ったアップルが大輪の花です。何とバークシャーのポートフォリオの40%以上を占めているのです。

アメリカの追い風を受ける

バフェットは、ここまでバークシャーが来られたのは、株主の支え、複利効果、重大な過ちを犯さなかったことがあるとしていますが、特に強調するのは「アメリカの追い風」決して我々の実力だけでなく、むしろ幸運だったといえます。そして、これからもアメリカの追い風に乘るべきで、これに逆らって成功した例を見たことがないといっています。

よきパートナー(同僚)を持つことほど強いものはない

盟友マンガーの言葉に1ページを割いて、15も挙げています。その中から、ここに4つ選びました。
・世界は愚かなギャンブラーで満ちている。だから我慢強い投資家がいつも勝つ。
・自分が知りたいことはどこで死ぬかだ。そしてそこには絶対に行かない。-転ばないことが長寿の秘訣という。
・尊敬する過去の人物からたくさんのことを学べる。そしてそこから真実を看破せよ。
・「ウォーレン(バフェット)、もうちょっと考えてみる。君は利口だが、僕が正しい。」

まかせて安心、資産運用のホームドクター

- 大切なお金を間違いない方法で運用しているのか、心配になることはありませんか。
- 退職後のセカンドライフを、お金の心配なく、ゆとりを持ってお過ごしですか。
- 仕事が忙しくて、なかなか運用まで手が回らないということはありませんか。
- 銀行や証券会社が勧めるままに、株や投資信託を購入していませんか。

金融商品の中身や手数料がどうなっているか、きちんと把握していますか。

びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーです。その強みを生かし、お客様に、客観的で、公正・中立なアドバイスを提供しています。手数料が高く売りやすい商品をお客様にもっとも適した金融商品やお客様にベストのアドバイスを提供しています。

びとうファイナンシャルサービスは、お客様の目標や夢の実現のため、40年を超える長い経験と深い専門知識、高い倫理観をもとに、お客様の利益のみに目を向けたサービスを提供しています。たとえるなら、多くのお客様の人生という航海で、無事に目的地に到着する大型客船であり、いつもお客様の資産運用という面で健康管理をするホームドクターです。



びとうファイナンシャルサービス
代表 尾藤 峰男
公認投資助言者(RIA)

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386
携帯：070-5567-3311 電子メール：info@bfsc.jp